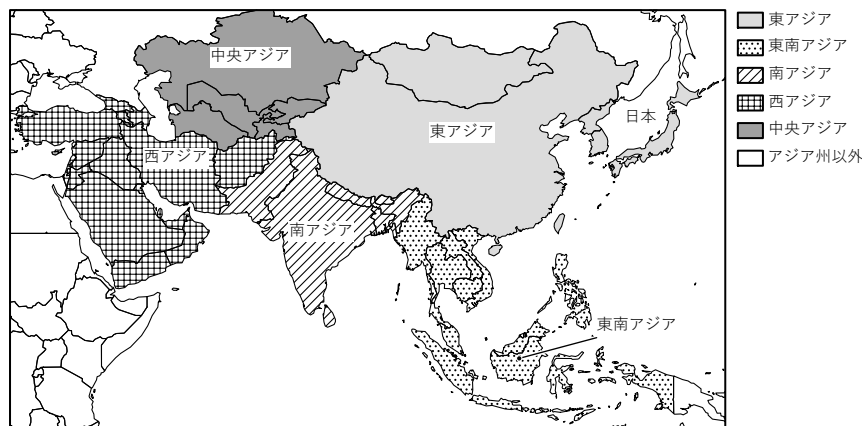


1 全体像	2~4 自然と人々	5・6 中国	7 韓国	8・9 東南アジア	10・11 南・西・中央アジア	12 くらべる
-------	-----------	--------	------	-----------	-----------------	---------

1 この単元の全体像 — アジア州は、どんな所で、どう発展している？

このページのゴール アジア州の5つの地域と、この単元で学ぶ5つのことを、ざっと言える



地圖：Natural Earth

① アジアの自然と人々 川・山・風・人口

くわしくは2~4ページ

世界の人口の半分より多い人がくらす、アジア州の自然と人々を学びます。

② 東アジア：中国と韓国 工業の発展

くわしくは5~7ページ

この数十年で経済が急に発展した、中国と韓国を学びます。

③ 東南アジア 米づくりと工業化

くわしくは8・9ページ

米づくりと、外国の会社の工場がふえたことを学びます。

④ 南アジア・西アジア・中央アジア 新しい産業と資源

くわしくは 10・11 ページ

インドの新しい産業と、石油で豊かになった地域を学びます。

⑤ くらべてまとめる 発展と課題

くわしくは12ページ

地域ごとの発展と課題を、表にしてください。

この単元の問い 経済が発展すると、くらしや社会はどう変わる？（答えは12ページ）

[illegible]

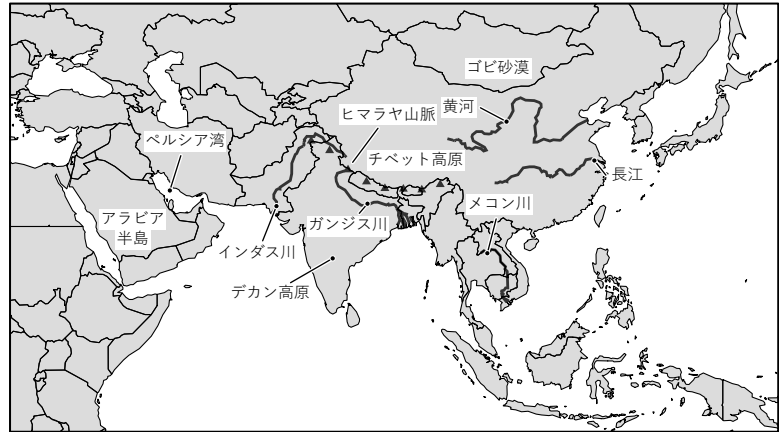
2 アジア州は、どんな地域に分けられる？ どんな地形がある？

このページのゴール アジア州の5つの地域と、おもな国・川・山を言える

① 5つの地域

アジア州は、東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア・中央アジアの5つの地域に分けて見る

地域	おもな国	おもな地形
東アジア	中国・韓国・日本・モンゴルなど	チベット高原・ゴビ砂漠
東南アジア	タイ・ベトナム・マレーシア・インドネシアなど	メコン川
南アジア	インド・パキスタン・バングラデシュなど	ヒマラヤ山脈・デカン高原
西アジア	サウジアラビア・イラン・アラブ首長国連邦など	アラビア半島・ペルシア湾
中央アジア	カザフスタン・ウズベキスタンなど	(どの国も海に面していない内陸国)



地図：Natural Earth

② 大きな川を、地域ごとに

① 中国の北部 = 黄河

② 中国の中部 = 長江

③ 東南アジア = メコン川

④ 南アジア = ガンジス川 (インド)・インダス川 (パキスタン)

ヒマラヤ山脈には、世界でいちばん高い山エベレスト (チョモランマ) があります。

インドの南部はデカン高原です。

注意 × 黄河は中国の南部を流れる → ○ 北部が黄河、中部が長江です

合言葉 「北が黄河、南が長江」

3 季節風は、アジアに何をもたらす？

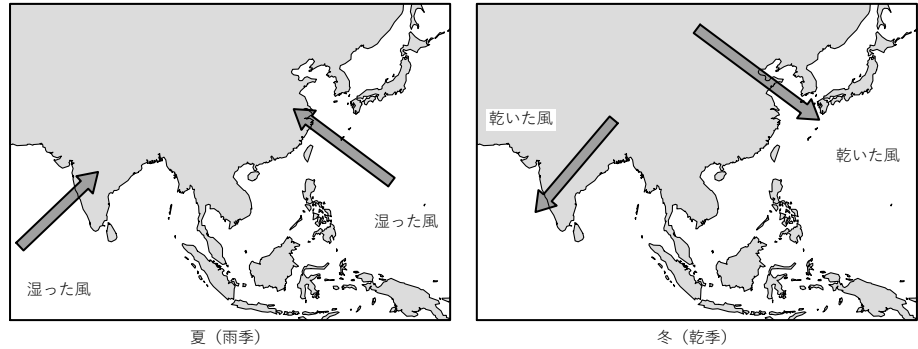
このページのゴール 季節風（モンスーン）の向きと、雨季・乾季のわけを言える

① 季節によって向きが変わる風

小5で学んだ、日本の夏と冬の風と同じしくみです。

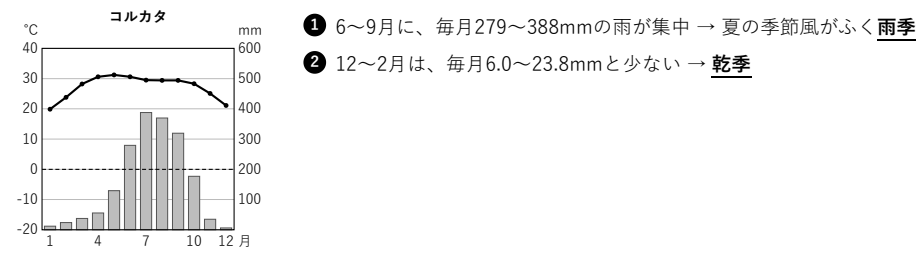
季節風（モンスーン）＝季節によって向きが変わる風。夏は海から大陸へ湿った風がふき、雨が多い（雨季）。冬は大陸から海へ乾いた風がふき、雨が少ない（乾季）

陸は海よりあたためやすいと冷えやすいので、夏は海から陸へ、冬は陸から海へ風がふきます。



地図：Natural Earth

② コルカタの雨温図で確かめる



年平均気温 27.3℃・年降水量 1832mm

雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

注意 × 季節風は1年中同じ向きにふく → ○ 夏と冬で向きが逆になる（だから雨季と乾季がある）

合言葉 「夏は海から湿った風、冬は大陸から乾いた風」

4 アジアには、どれくらいの人がからし、どう発展してきた？

このページのゴール アジアの人口と宗教、多くの国に見られる発展の流れを言える

① 人口は世界でいちばん多い

世界の人口の約6割が、アジア州に暮らしています。中国とインドは、どちらも人口が約14億人です。2023年には、インドが中国をこえて世界一になりました（国連の推計）。

② 地域ごとに広がる宗教

宗教の決まりやくらしは②で学びました。アジアでは、地域ごとに広がる宗教がちがいます。

地域	おもな宗教
東アジア	仏教など
東南アジア	仏教（タイなど）・イスラム教（インドネシア・マレーシアなど）・キリスト教（フィリピン）
南アジア	ヒンドゥー教（インド）
西アジア・中央アジア	イスラム教

③ 地域ごとの気候

3ページの季節風は、地域によって違いががちがいます。季節風の雨が、稲作を支えています（5・8ページ）。

地域	おもな気候帯	季節風	雨の特徴
東アジア	温帯（西部は乾燥帯）	受ける	夏に雨が多い
東南アジア	熱帯	受ける	1年中暑く、雨が多い（雨季と乾季がある所も）
南アジア	熱帯など	受ける	雨季と乾季がある
西アジア・中央アジア	乾燥帯	受けにくい	1年中雨が少ない

④ アジアの多くの国に見られる発展の流れ

- ① 働く人が多く、賃金が安い
- ② 外国の会社が、工場をつくる
- ③ 工業製品を輸出して、豊かになる
- ④ 仕事を求めて、農村から都市へ人が移る
- ⑤ 都市の過密・スラム・交通渋滞・大気汚染や、地域の格差が起きる

ただし、流れが同じでない地域もあります。西アジアと中央アジアは石油などの資源（11ページ）、インドは ICT産業でも発展しました（10ページ）。5～11ページの国を、この流れで見えていきます。

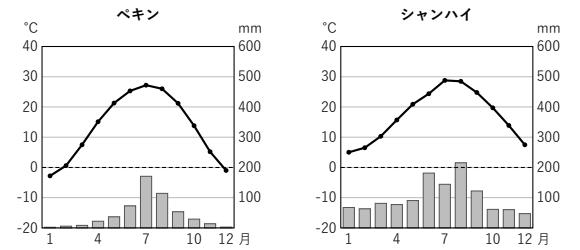
注意 × アジアの国は、どこも同じしかたで発展した → ○ 工場で発展した国、資源で発展した国、ICT産業でも発展した国がある

5 中国の農業は、なぜ北と南と西でちがう？

このページのゴール 中国の農業のちがいを、雨の量から説明できる

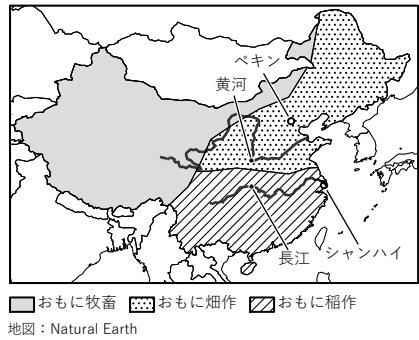
中国（中華人民共和国）は首都がペキンで、人口は約14億人。約9割が漢民族で、ほかに55の少数民族がくらしています。

一人っ子政策=1組の夫婦の子どもを1人に制限した政策。少子高齢化（子どもがへり、お年寄りがふえること）で働く世代がへることが心配され、今はやめている



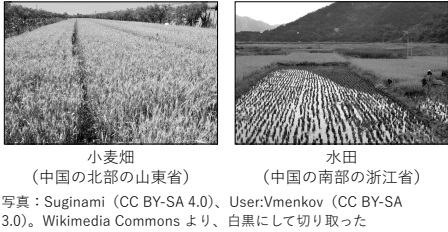
年平均気温 13.3°C・年降水量 531mm 年平均気温 17.2°C・年降水量 1212mm

雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値



地域	年降水量	農業（おもな作物）
北部 （ペキンなど）	531mm	<u>畑作</u> （小麦・大豆・とうもろこし）
南部 （シャンハイなど）	1212mm	<u>稲作</u> （米・茶）
西部 （高原）	とても少ない	<u>牧畜</u> （羊・やぎ）

- ① 多い（シャンハイ）→ 水をたくさん使う稲作
- ② 少なめ（ペキン）→ 畑作
- ③ ペキンよりさらに少ない → 作物が育ちににくく、草を求めて家畜を飼う牧畜（②の遊牧と同じ）



合言葉 「北は畑作、南は稲作、西は牧畜（雨の量で決まる）」

このページのまとめ 支えた物：約14億人の人口 課題：少子高齢化

6 中国は、どうして「世界の工場」になった？ 何が課題？

このページのゴール 工業が発展したわけを、国の政策と人口の2つから言え、格差の問題を言える

① 経済特区を沿海部につくった

経済特区＝1980年ごろから、沿海部につくった、外国の企業を税金などで優遇して呼びこむ地区

● 沿海部 ■ 内陸部 ● 経済特区

地図：Natural Earth

経済特区は、南東部の海沿いにあるシェンチェン（深圳。ホンコンのとなり）・チューハイ（珠海）・スワトウ（汕頭）・アモイ（廈門）と、のちにハイナン（海南）島に置かれました。

海沿いの沿海部に置いたわけは、港があり、原料の輸入や製品の輸出など、外国との貿易に便利だからです。

② 工業が発展した2つのわけ

わけ	中身
政策	経済特区で、外国の会社を税金などで優遇した
人口	働く人が多く、賃金が安い

外国の会社が工場をつくる

→

製品を世界へ輸出

→

世界の工場
(経済の規模は世界第2位)

③ 沿海部と内陸部の格差

	おもな仕事	収入	人の動き
沿海部	工業	多い	出かせぎを受け入れる
内陸部	農業	少ない	沿海部の都市へ出かせぎ

この経済格差を小さくするため、内陸部の開発（西部大開発）を進めています。工業化で大気汚染などの環境問題も起きています。

高層ビルが並ぶ町
(中国のシェンチェン)

写真：Charlie fong (CC BY-SA 4.0)。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

注意 × 中国の工業は、内陸部から発展した → ○ 経済特区を置いた沿海部から発展した

このページのまとめ 支えた物：経済特区・安い労働力 課題：格差・大気汚染

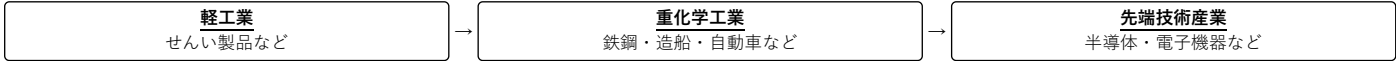
7 韓国は、どうして急に発展した？ 何が課題？

このページのゴール 韓国の輸出品の変化と、アジアNIES、一極集中を言える

① 韓国は、どんな国？

韓国（大韓民国）は日本のすぐとなりの国で、首都は**ソウル**です。文字は**ハングル**を使います。1960年代から工業化が急に進みました。

② 輸出の中心は、どう変わった？



変わるわけ 工業が発展して賃金が上がると、多くの人手で安くつくる製品（せんい製品など）は、より賃金の安い国でつくられるようになります。すると、技術の要る製品の割合がふえることが多いのです。

アジアNIES（新興工業経済地域）＝早くから工業化して、急に経済が成長した国・地域のよび名。韓国・台湾・ホンコン・シンガポールの4つ

アジアNIES	地域
韓国	東アジア
台湾	東アジア
ホンコン	東アジア（中国の南部）
シンガポール	東南アジア

③ ソウルへの一極集中

ソウルとその周りに、国の人口の約半分が集まっています。このように1つの都市に人や仕事が集まりすぎることを**一極集中**といいます。住宅不足や交通渋滞などの「過密」の問題が起きています。



造船所
（韓国のウルサン）



高層ビルが並ぶ町
（韓国のソウル）

写真：Wvdp（CC0）、TurnOnTheNight（CC BY-SA 4.0）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

注意 × アジアNIESは、東南アジアの国々がつくった組織 → ○ 韓国・台湾・ホンコン・シンガポールを、急に工業化した国・地域としてまとめたよび名

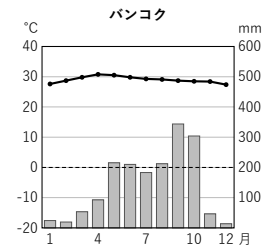
このページのまとめ 支えた物：重化学工業 → 先端技術産業 課題：一極集中

8 東南アジアでは、何がつくられている？ どうして？

このページのゴール 稲作や二期作がさかんなわけと、プランテーションの作物を言える

① 熱帯の地域で、米をつくる

東南アジアは、タイ・ベトナム・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピンなどです。熱帯が広く、季節風（3ページ）のえいきょうで雨が多い地域です。

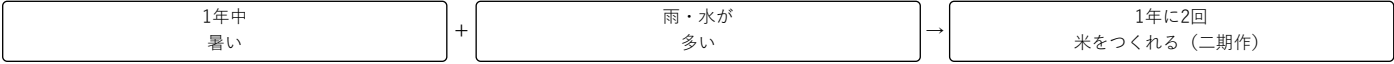


バンコク（タイ）は、いちばん低い月でも27.4°Cで、1年中暑い所です。雨は5～10月に多く、年1718mmです。
この気候で稲作がさかんです。タイやベトナムは、米を多く輸出しています。

年平均気温 29.1°C・年降水量 1718mm

雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

二期作＝同じ土地で、1年に2回、同じ作物（米）をつくること



② 植民地の歴史とプランテーション

東南アジアのほとんどの国は、かつて欧米の国々の植民地でした。タイは植民地になりませんでした。

プランテーション＝植民地の時代に、ヨーロッパの人々が開いた大農園。輸出向けの作物を、大規模につくる

作物	何に使う	おもな国
天然ゴム	タイヤなど	タイ・インドネシア
油やし	パーム油の原料	インドネシア・マレーシア
バナナ	食用	フィリピン
コーヒー	飲み物	ベトナム



田
(ベトナムの南部)



油やしの農園
(マレーシアのサバ州)

写真：Thomas Schoch – www.retass.de (CC BY-SA 3.0)、CEphoto, Uwe Aranas (CC BY-SA 3.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

油やしの農園を広げるために、熱帯雨林が切り開かれている所があります。

注意 ×二期作は、1年に2種類の作物をつくる → ○ 同じ作物（米）を1年に2回つくる

このページのまとめ 支えた物：暑さと季節風の雨 課題：熱帯雨林の切り開き

9 東南アジアの産業は、どう変わった？ 都市では何が起きている？

このページのゴール 外国の会社が工場をつくったわけと、輸出品の変化、都市の課題を言える

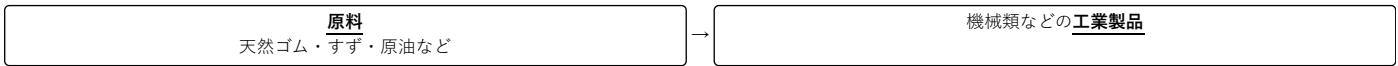
① 国どうしの協力

ASEAN（東南アジア諸国連合）＝1967年に結成された、東南アジアの国々が、経済・政治などで協力する組織

② 外国の会社が、東南アジアに工場をつくるわけ

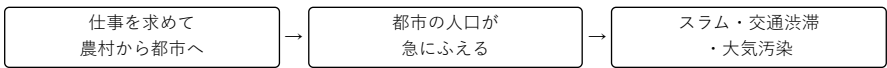
- ① 賃金が安い国が多く、働く人も多い
 - ② 工業団地がある（道路・電気・水などを整え、工場を集めた地区）
 - ③ ASEANの国どうしで協力し、物を売り買いしやすくしている
- 日本の会社の工場も、たくさんあります。

③ 輸出品が、原料から機械類へ



②のように外国の会社が工場をつくり、機械類をつくって輸出するようになったからです。ただし、国によっては今も、石炭などの資源・原料の輸出が多い所があります（インドネシアなど）。

④ 都市に起きている問題



住宅が足りず、生活環境の悪い地区のスラムができます。



工業団地の工場
（ベトナムの北部）



交通渋滞
（タイのバンコク）

写真：BacThai20（CC0）、TomaszSwatowski（CC BY-SA 4.0）。
Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

注意 × 東南アジアの輸出の中心は、今も天然ゴムなどの原料 → ○ 今は機械類などの工業製品が中心になった国が多い

合言葉 「原料の輸出から、機械類の輸出へ」

このページのまとめ 発展を支えた物：外国の会社・工業団地・ASEAN 課題：スラム・交通渋滞・大気汚染

10

インドは、何で発展している？人口がふえて何が起きている？

このページのゴール

インドの農業の地域ごとのちがいと、ICT産業が伸びたわけを言える

①

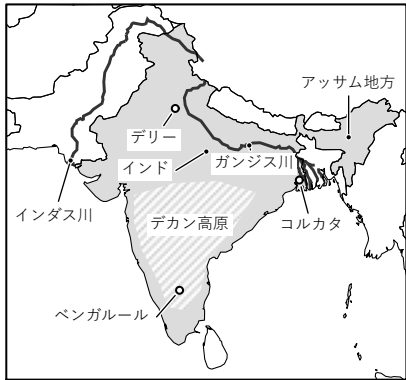
人口が世界一のインド

インドは、人口が世界でいちばん多い国になりました（2023年）。人口の約8割はヒンドゥー教を信じています。生まれによる身分の制度カースト制度の影響が残っていますが、今は憲法で差別を禁止しています。

②

農業は、雨の量で作物がちがう

場所	雨	作物
ガンジス川の下流	多い	稲
ガンジス川の上流・インダス川の流域	少ない	小麦
デカン高原	—	綿花
アッサム地方など北東部	—	茶



地図：Natural Earth

③

ICT産業が伸びたわけ

ICT（情報通信技術）産業＝ソフトウェアの開発などの産業。南部のベンガルール（バンガロール）を中心に急成長している

- ①
- 英語を話せる人が多い（昔、イギリスの植民地だった）
- ②
- 数学・理科の教育に力を入れ、技術者が多い
- ③
- アメリカと時差が約半日ある → アメリカが夜の間に、インドで仕事を進められる
- ④
- アメリカなどより賃金が安い



ICT（情報通信技術）の会社
（インドのベンガルール）



茶畑
（インドのダージリン）

写真：HokuroN（CC BY-SA 4.0）、Vyacheslav Argenberg（CC BY 4.0）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

インドは、アメリカなど他の地域と結びついて発展しました。自動車工業も成長しています。

注意

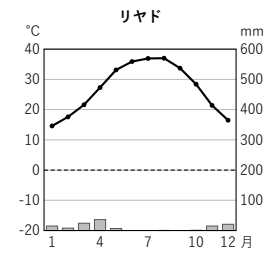
×インドでICT産業が伸びたのは、アメリカと時差が無いから → ○時差が約半日あり、アメリカの夜の間に仕事を進められるから

このページのまとめ 発展を支えた物：ICT産業・アメリカとの結びつき 課題：人口の増加・都市のスラム・貧富の差

11 西アジアと中央アジアは、何で豊かになった？ 何が課題？

このページのゴール 石油で豊かになった西アジアのようすと、中央アジアの資源を言える

① 乾燥した西アジア



年平均気温 27.0°C・年降水量 127mm

リヤド（サウジアラビア）は、年降水量が127mmしかありません。西アジアは乾燥帯が広い地域です。
イスラム教を信じる人が多く、クルアーン（コーラン）の教えにしたがってくらしています（②で学びました）。

雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

② 石油で豊かになった

ペルシア湾のまわりで、石油（原油）がたくさんとれます。産油国は石油を輸出して豊かになり、近代的な都市ができました。

OPEC（石油輸出国機構）＝西アジアの産油国などが結成した組織。石油の生産量や価格を話し合って決め、産油国の利益を守る

③ 石油にたよる経済の課題

石油の値段が下がると国の収入がへるうえ、石油はいつかなくなります。そこで、観光・金融など、石油にたよらない産業を育てています。高層ビルが立ちならぶアラブ首長国連邦のドバイが、その例です。

④ 中央アジア

カザフスタン・ウズベキスタンなどの中央アジアの国は、かつてソ連の一部で、1991年に独立しました。石油・天然ガスのほか、レアメタル（希少金属）がとれます。

レアメタル＝携帯電話・パソコンなどの部品に使う、とれる量が少ない金属



高層ビルが並ぶ町
（アラブ首長国連邦のドバイ）
石油を取り出す施設
（アラブ首長国連邦の沖）
写真：Tim Reckmann from Hamm, Deutschland (CC BY 2.0)、
Crescent Petroleum/Icethorn (CC BY-SA 3.0)。Wikimedia
Commons より、白黒にして切り取った

注意 × OPECは、アジアの国々の経済協力の組織 → ○ 石油を輸出する国々が、生産量や価格を話し合う組織

このページのまとめ 発展を支えた物：石油・天然ガス・レアメタル 課題：資源にたよる経済

12 アジア州の経済発展を、くらべてまとめると？

このページのゴール 地域ごとに、発展を支えた物と課題をくらべて言える（1ページの問いの答え）

① 地域ごとに、くらべる

地域	発展を支えた物	課題	ページ
中国	経済特区・安くて豊富な労働力	沿海部と内陸部の格差・大気汚染	5・6
韓国	重化学工業 → 先端技術産業	ソウルへの一極集中	7
東南アジア	外国の会社・工業団地・ASEAN	スラム・交通渋滞・熱帯雨林の切り開き	8・9
インド	ICT産業・アメリカとの結びつき	人口の増加・スラム・貧富の差	10
西アジアと中央アジア	石油・天然ガス・レアメタル	資源にたよる経済	11

② 頭文字の名前を、くらべる

名前	何か	どこ	目的・意味
NIES	よび名	韓国・台湾・ホンコン・シンガポール	早くから工業化して、急に成長した国・地域
ASEAN	組織	東南アジアの国々	経済・政治などで協力する
OPEC	組織	西アジアなどの産油国	石油の生産量や価格を話し合い、利益を守る

③ 発展のしかたは、おもに3つのタイプ

タイプ	地域	発展を支えた物
工業製品の輸出で発展した	中国・韓国・東南アジア	安い労働力（中国・東南アジアは外国の会社の工場も）
ICT産業でも発展した	インド	英語を話せる人・技術者・時差
資源で発展した	西アジア・中央アジア	石油・天然ガス・レアメタル

④ 1ページの問いの答えの例

経済が発展すると、多くの人のくらしは豊かになった。しかし、地域の格差・都市の過密・環境の問題も生まれ、各国が取り組んでいる。たとえば、中国は内陸部の開発（西部大開発）を進め、西アジアは石油にたよらない産業を育てている

注意 × NIES・ASEAN・OPECは、どれも国どうしの組織 → ○ NIESは組織ではなく、急に成長した国・地域のよび名

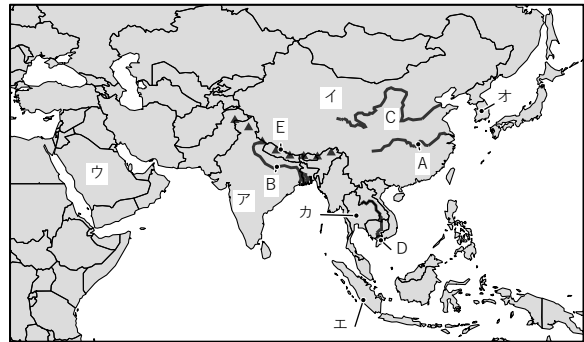
合言葉 「NIESは急成長した国・地域、ASEANは東南アジアの協力、OPECは産油国の集まり」

確認問題① アジアの自然と人々

答えと解説は17～19ページ（9・10枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 アジア州の地図について、次の問いに答えなさい。【1・2ページ】

ア～カは、インド・インドネシア・韓国・サウジアラビア・タイ・中国のどれかです。A～Dは川、Eは山脈です。

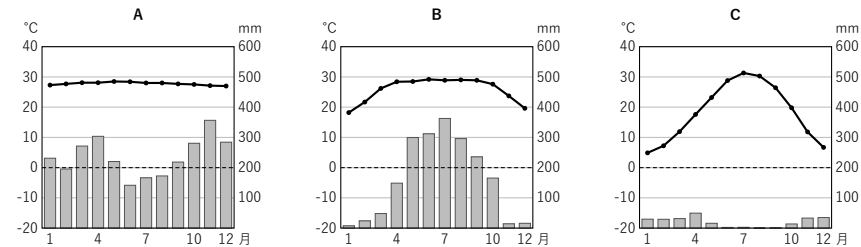


地図：Natural Earth

- (1) 中国はどれですか。ア～カから1つ選び、記号で書きなさい。 _____
(2) インドはどれですか。ア～カから1つ選び、記号で書きなさい。 _____
(3) 東南アジアにある国を、ア～カから2つ選び、記号で書きなさい。 _____
(4) ウの国は、5つの地域のうち、どこにありますか。 _____
(5) A～Dのうち、黄河はどれですか。 _____
(6) A～Dのうち、長江はどれですか。 _____
(7) A～Dのうち、東南アジアを流れる川はどれですか。 _____

2 アジアの気候・人口・宗教について、次の問いに答えなさい。【3・4ページ】

- (1) 夏と冬で向きが変わる、大陸と海のあたためり方のちがいがから生まれる風を何とといいますか。 _____
(2) (1)の風は、夏にどのようにふきますか。次のア～エから1つ選びなさい。
ア 海から大陸へ、湿った風がふく イ 大陸から海へ、乾いた風がふく ウ 海から大陸へ、乾いた風がふく エ 大陸から海へ、湿った風がふく _____
(3) (1)の風は、冬にどのようにふきますか。次のア～エから1つ選びなさい。
ア 海から大陸へ、乾いた風がふく イ 大陸から海へ、湿った風がふく ウ 大陸から海へ、乾いた風がふく エ 海から大陸へ、湿った風がふく _____
(4) 夏に雨が多くなる季節を「雨季」といいます。冬に雨が少なくなる季節を何とといいますか。 _____



- (5) A～Cのうち、1年中気温が高く、雨も多いのはどれですか。 _____
(6) A～Cのうち、1年を通して雨が少ないのはどれですか。 _____
(7) A～Cのうち、季節によって雨の量が大きく変わり、夏に雨が集中するのはどれですか。 _____
(8) 世界の人口のうち、アジア州にくらす人の割合に近い物を選びなさい。ア 約3割 イ 約6割 ウ 約9割 _____
(9) 国と、その国で信仰する人が多い宗教の組み合わせとして、正しい物を選びなさい。
ア タイーヒンドゥー教 イ インドネシアーイスラム教 ウ フィリピンー仏教 エ インドーキリスト教 _____
(10) 次のア～エを、アジアの多くの国に見られる発展の流れの順に並べかえなさい。
ア 外国の会社が工場をつくる イ 働く人が多く、賃金が安い ウ 仕事を求めて、農村から都市へ人が移る エ 工業製品を輸出して、豊かになる

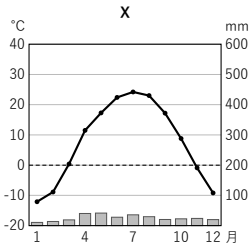
雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

確認問題② 中国

3 中国の人口と農業について、次の問いに答えなさい。【5ページ】

- (1) 中国の人口の約9割をしめる民族を何といいますか。 _____
- (2) 人口がふえすぎないように、1組の夫婦の子どもを1人に制限した政策を何といいますか。 _____
- (3) (2)の政策を、今はやめています。そのわけとして正しい物を選びなさい。
ア 子どもの数がふえすぎて、学校が足りなくなったから イ 少子高齢化が進み、働く世代が減ることが心配されたから
ウ 食料が足りなくなり、外国からの輸入がふえたから _____
- (4) 中国の北部（雨が少ない）でさかんな農業を何といいますか。 _____
- (5) (4)でつくられるおもな作物を1つ書きなさい。 _____
- (6) 中国の南部（雨が多く、温暖）でさかんな農業を何といいますか。 _____
- (7) 南部で、米のほかにつくられている、飲み物の原料になる作物を書きなさい。 _____
- (8) (6)の農業が、南部でさかんなわけを、雨の量にふれて書きなさい。 _____

下の雨温図Xは、中国の西部の都市のものです。



- (9) Xのように雨がとても少ない、中国の西部の高原で広く行われている農業として、最も適する物を選びなさい。
ア 草を求めて、羊などの家畜を飼う農業 イ 水をたくさん使い、田で作物を育てる農業 ウ 雨が少なめの土地で、畑で作物を育てる農業 _____

雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

4 中国の工業と課題について、次の問いに答えなさい。【6ページ】

- (1) 外国の企業を税金などで優遇して呼びこむために、沿海部につくられた地区を何といいますか。 _____
- (2) (1)の1つで、ホンコンのとなりにある都市を書きなさい。 _____
- (3) (1)を沿海部に置いたわけとして正しい物を選びなさい。
ア 山が多く、工場を建てやすいから イ 港があり、外国との貿易に便利だから ウ 雨が少なく、農業に向かないから _____
- (4) (1)などで工業が発展し、世界中に工業製品を輸出するようになった中国は、何とよばれるようになりましたか。 _____
- (5) 中国の経済の規模（国内総生産）は、世界で第何位ですか。 _____
- (6) 沿海部と内陸部をくらべて、収入が少なく、都市へ出かせぎに行く人が多いのはどちらですか。ア 内陸部 イ 沿海部 _____
- (7) (6)のような格差を小さくするため、中国が内陸部の開発を進める政策を何といいますか。 _____
- (8) 工業化とともに起きていて、空気がよごれる環境問題を何といいますか。 _____
- (9) 中国で工業が急に発展したわけを、政策と人口の両方にふれて書きなさい。 _____

確認問題 ③ 韓国・東南アジア・南アジア・西アジア・中央アジア

5 韓国について、次の問いに答えなさい。【7ページ】

- (1) 韓国の首都はどこですか。 _____
- (2) 次のア～ウを、韓国の輸出の中心となった産業が変化した順に並べかえなさい。
ア 鉄鋼・造船・自動車などの重化学工業 イ せんい製品などの軽工業 ウ 半導体・電子機器などの先端技術産業
- (3) 工業が発展して賃金が上がると、せんい製品のように多くの人手でつくる製品は、どうなることが多いですか。 _____
ア 韓国でさらにふえる イ 売れなくなり、世界のどこでもつくられなくなる ウ より賃金の安い国でつくられるようになる
- (4) 早くから工業化して、急に経済が成長した国・地域を、まとめて何とよびますか。 _____
- (5) (4) にあたる国・地域を、次からすべて選びなさい。 _____
ア 韓国 イ インドネシア ウ 台湾 エ シンガポール オ マレーシア カ ホンコン
- (6) 韓国の首都とその周りに、国の人口の約半分が集まっているように、1つの都市に人や仕事が集まりすぎている状態を何といいますか。 _____
- (7) (6) によって起きている問題を1つ書きなさい。 _____

6 東南アジアについて、次の問いに答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 同じ土地で、1年に2回、米をつくる農業を何といいますか。 _____
- (2) 米を多く輸出している東南アジアの国を、2つ書きなさい。 _____
- (3) 植民地の時代にヨーロッパの人々が開いた、輸向け作物を大規模につくる農園を何といいますか。 _____
- (4) 油やしからとれる、食用油などの原料になる油を何といいますか。 _____
- (5) 東南アジアの国々のうち、植民地にならなかった国を書きなさい。 _____
- (6) 1967年に結成された、東南アジアの国々が経済や政治で協力する組織を何といいますか。 _____
- (7) 外国の会社の工場が集まってつくられた地区を何といいますか。 _____
- (8) 外国の会社が東南アジアに工場をつくったわけを、「賃金」という語を使って書きなさい。 _____

- (9) 仕事を求めて農村から都市へ人が移り、都市にできる、生活環境の悪い地区を何といいますか。 _____

7 南アジア（インド）について、次の問いに答えなさい。【10ページ】

- (1) インドは、人口が世界で何番目に多い国ですか。 _____
- (2) インドで、人口の約8割が信じている宗教は何ですか。 _____
- (3) インドに古くから残る、生まれによる身分の制度を何といいますか。 _____
- (4) ガンジス川の下流で稲、上流やインダス川の流域で小麦が多くつくられるわけを、雨の量にふれて書きなさい。 _____

- (5) デカン高原で栽培がさかんな作物は何ですか。 _____
- (6) アッサム地方など北東部で栽培がさかんな作物は何ですか。 _____
- (7) インド南部の都市を中心に成長している、ソフトウェアの開発などの産業を何といいますか。 _____
- (8) (7) の産業が急成長している、インド南部の都市を何といいますか。 _____
- (9) (7) の産業がインドで伸びたわけとして正しい物を選びなさい。
ア 米の生産が多く、技術者を育てやすいから イ 英語を話せる人が多いから ウ 冬が長く、屋内で働く人が多いから

8 西アジア・中央アジアと、アジア州のまとめについて、次の問いに答えなさい。【11・12ページ】

- (1) 西アジアに広く分布している気候帯は何ですか。 _____
- (2) 西アジアで、石油（原油）が多くとれる湾を何といいますか。 _____
- (3) アラブ首長国連邦にある、高層ビルが立ちならび、石油にたよらない産業に力を入れている都市を何といいますか。 _____
- (4) 西アジアの産油国が育てている、石油にたよらない産業を1つ書きなさい。 _____
- (5) 中央アジアの国々は、1991年に独立するまで、どこの国の一部でしたか。ア 中国 イ アメリカ ウ ソ連 _____
- (6) 中央アジアでとれる、携帯電話やパソコンの部品などに使われる、とれる量が少ない金属を何といいますか。 _____
- (7) 地域と、発展を支えた物の組み合わせとして、正しい物を選びなさい。
ア インドーソフトウェアの開発などの産業 イ 中国ー石油 ウ 韓国ー経済特区 エ 西アジアー稲作
- 次の(8)～(10)の説明に当てはまる名前を、ア～ウから選びなさい。ア アジアNIES イ ASEAN ウ OPEC
- (8) 石油を輸出する国々が、生産量や価格を話し合い、産油国の利益を守る組織 _____
- (9) 東南アジアの国々が、経済や政治で協力する組織 _____
- (10) 早くから工業化して、急に経済が成長した国・地域のよび名 _____

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

5つの地域とおもな国・地形（2ページ）

地域	おもな国	おもな地形
東アジア	中国・韓国・日本・モンゴル	黄河（北）・長江（中部）・チベット高原・ゴビ砂漠
東南アジア	タイ・ベトナム・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン	メコン川
南アジア	インド・パキスタン・バングラデシュ	ヒマラヤ山脈・ガンジス川・インダス川・デカン高原
西アジア	サウジアラビア・イラン・アラブ首長国連邦	アラビア半島・ペルシア湾
中央アジア	カザフスタン・ウズベキスタン	どの国も内陸国

季節風・人口・宗教（3・4ページ）

季節風（モンスーン）：夏＝海から大陸へ湿った風（雨季）／冬＝大陸から海へ乾いた風（乾季）。陸は海よりあたたまりやすく冷えやすい。人口：世界の約6割がアジア州。中国とインドは約14億人（2023年からインドが世界一）。宗教：東アジア＝仏教など／東南アジア＝仏教（タイ）・イスラム教（インドネシア・マレーシア）・キリスト教（フィリピン）／南アジア＝ヒンドゥー教／西・中央アジア＝イスラム教。発展の流れ：賃金が安い→外国の会社が工場→輸出で豊かに→農村から都市へ→過密・スラム・格差。

中国（5・6ページ）

人口	漢民族（約9割）・少数民族／一人っ子政策（少子高齢化で、今はやめている）
農業	北＝畑作（531mm）／南＝稲作（1212mm）／西＝牧畜（雨がとても少ない）
工業	経済特区（沿海部。港があり貿易に便利）＋安く豊富な労働力→世界の工場（経済の規模は世界第2位）
課題	沿海部と内陸部の経済格差→西部大開発／大気汚染

韓国（7ページ）

首都ソウル。輸出：軽工業（せんい製品）→重化学工業（鉄鋼・造船・自動車）→先端技術産業（半導体・電子機器）。アジアNIES＝韓国・台湾・ホンコン・シンガポール。課題＝ソウルへの一極集中（住宅不足・交通渋滞）。文字＝ハングル。

東南アジア（8・9ページ）

稲作・二期作（1年中暑い＋雨・水が多い）。タイ・ベトナムは米を輸出。プランテーション（天然ゴム・油やし・バナナ・コーヒー）。植民地にならなかった国＝タイ。ASEAN（1967年・東南アジアの協力）。外国の会社に来るわけ＝賃金が安い・工業団地・ASEAN。輸出品＝原料→機械類。都市化でスラム・交通渋滞・大気汚染。

インド（10ページ）

人口・宗教	人口世界一（2023年）／ヒンドゥー教（約8割）・カースト制度（今は差別を禁止）
農業	ガンジス川の下流＝稲／上流・インダス川の流域＝小麦／デカン高原＝綿花／アッサム地方＝茶
ICT産業	ベンガルールが中心。わけ：英語を話せる人が多い・技術者が多い・アメリカと時差が約半日・賃金が安い

西アジア・中央アジア（11ページ）

西アジア：乾燥帯・イスラム教。ペルシア湾で石油（原油）。OPEC。ドバイ。石油にたよらない産業（観光・金融）も育てる。中央アジア：旧ソ連（1991年独立）・内陸国・レアメタル。

頭文字の名前（12ページ）

NIES	組織ではなく、急に成長した国・地域のよび名
ASEAN	東南アジアの国々が、経済・政治で協力する組織
OPEC	産油国が、石油の生産量や価格を話し合う組織

合言葉（2・3・5・9・12ページ）

「北が黄河、南が長江」／「夏は海から湿った風、冬は大陸から乾いた風」／「北は畑作、南は稲作、西は牧畜（雨の量で決まる）」／「原料の輸出から、機械類の輸出へ」／「NIESは急成長した国・地域、ASEANは東南アジアの協力、OPECは産油国の集まり」

確認問題の答えと解説

- 1【1・2ページ】
- (1) イ
1ページの地図で東アジアにあるのはイとオ。大きいほうのイが中国（オは韓国）。【1・2】
- (2) ア
1ページの地図で南アジアにあるのはアだけ。ア〜カのうち南アジアの国はインド。【1・2】
- (3) エ・カ
1ページの地図で東南アジアにあるのはエ（インドネシア）とカ（タイ）。【1・2】
- (4) 西アジア
1ページの地図で、ウは西アジアの所にある。アラビア半島のサウジアラビア。【1・2】
- (5) C
黄河は中国の北部を流れる。中部を流れるのが長江（A）。【2】
- (6) A
北が黄河、南（中部）が長江と覚える。【2】
- (7) D
Dはメコン川。【2】
- (8) ガンジス川
Bはインドの北部を東へ流れるガンジス川。【2】
- (9) ヒマラヤ山脈
世界でいちばん高い山 エベレスト（チョモランマ）がある。【2】
- (10) デカン高原
南アジアの地形。【2】
- (11) 内陸国
①で学んだ語。中央アジアの国は、どれも内陸国。【2】

- 2【3・4ページ】
- (1) 季節風（モンスーン）
陸は海よりあたたまりやすく冷えやすいので、夏と冬で風の向きが逆になる。【3】
- (2) ア
夏は、あたたまった大陸へ、海から湿った風がふいて雨が多くなる。【3】
- (3) ウ
冬は、冷たい大陸から海へ、乾いた風がふいて雨が少なくなる。【3】
- (4) 乾季
季節風の向きが変わるので、雨季と乾季ができる。【3】

- (5) A
A（クアラルンプール）は毎月 27.0〜28.5℃ で、年降水量は 2842mm と多い。【3】
- (6) C
C（テヘラン）は年降水量が 244mm で、どの月も少ない。【3】
- (7) B
B（ダッカ）は5〜9月に雨が集中し、11〜1月は 7.5〜16.0mm と少ない。季節風のえいきょう。【3】
- (8) イ
世界の人口の約6割がアジア州にくらす。中国とインドはどちらも約14億人。【4】
- (9) イ
タイは仏教、フィリピンはキリスト教、インドはヒンドゥー教。【4】
- (10) イ→ア→エ→ウ
賃金が安い → 外国の会社が来る → 輸出して豊かになる → 都市へ人が移り、都市の問題が起きる。【4】

- 3【5ページ】
- (1) 漢民族
残りは55の少数民族。【5】
- (2) 一人っ子政策
今はやめている。【5】
- (3) イ
子どもが少なくなり、働く世代がへることが心配された。【5】
- (4) 畑作
小麦・大豆・とうもろこしなどをつくる。【5】
- (5) 小麦（大豆・とうもろこし）
ペキンなど北部では、小麦などの畑作が中心。【5】
- (6) 稲作
シャンハイなど南部は年降水量 1212mm と多く、米づくりがさかん。【5】
- (7) 茶
南部は雨が多く温暖なので、米と茶がつくられる。【5】
- (8) （例）南部は雨が多く、水をたくさん使う農業に向いているから。
「なぜその農業か」は雨の量で答える。入れる語：「雨が多い」。【5】
- (9) ア（牧畜）
X（ウルムチ）の年降水量は 304mm で、ペキン（531mm）よりさらに少ない。このように雨がとても少ない西部の高原では、作物が育ちににくく、牧畜が中心になる。【5】

4【6ページ】

(1) 経済特区

1980年ごろから、海沿いにつくられた。【6】

(2) シェンチェン（深圳）

ほかにチューハイ・スワトウ・アモイなど。【6】

(3) イ

原料の輸入や製品の輸出に、港が便利。【6】

(4) 世界の工場

経済の規模（国内総生産）はアメリカに次いで世界第2位。【6】

(5) 第2位

アメリカに次いで世界第2位。【6】

(6) ア

内陸部の農村は収入が少なく、沿海部の都市へ出かせぎに行く人が多い。【6】

(7) 西部大開発

経済格差を小さくするための政策。【6】

(8) 大気汚染

工業化の課題のひとつ。【6】

(9) (例) 経済特区で外国の会社を優遇して呼びこんだことと、働く人が多く賃金が安かったことで、外国の会社が工場をつくったから。

入れる語：「経済特区」「優遇」「働く人が多い」「賃金が安い」。政策＝経済特区、人口＝安くて豊富な労働力。【6】

5【7ページ】

(1) ソウル

正式な国名は大韓民国。【7】

(2) イ→ア→ウ

軽工業 → 重化学工業 → 先端技術産業の順に変わった。【7】

(3) ウ

賃金の安い国でつくられるようになり、技術の要る製品の割合がふえることが多い。【7】

(4) アジアNIES（新興工業経済地域）

組織ではなく、国・地域をまとめたよび名。【7】

(5) ア・ウ・エ・カ

韓国・台湾・ホンコン・シンガポールの4つ。インドネシアとマレーシアは入らない。【7】

(6) 一極集中

【7】

(7) (例) 住宅不足・交通渋滞

人が集まりすぎて起きる「過密」の問題。【7】

6【8・9ページ】

(1) 二期作

1年中暑く、雨・水が多い所で行われる。【8】

(2) タイ・ベトナム

【8】

(3) プランテーション

天然ゴム・油やし・バナナ・コーヒーなどをつくる。【8】

(4) パーム油

農園を広げるために、熱帯雨林が切り開かれている。【8】

(5) タイ

ほかの国は、ほとんどヨーロッパの国などの植民地だった。【8】

(6) ASEAN（東南アジア諸国連合）

【9】

(7) 工業団地

道路・電気・水などが整えられている。【9】

(8) (例) 賃金が安く、働く人が多いから。

入れる語：「賃金が安い」「働く人が多い」。【9】

(9) スラム

ほかに交通渋滞や大気汚染も起きている。【9】

7 【10ページ】

(1) 1番目（世界一）

2023年に中国をこえて世界一になった（国連の推計）。【4・10】

(2) ヒンドゥー教

【10】

(3) カースト制度

今は憲法で差別を禁止している。【10】

(4) （例）下流は雨が多いので稲が、上流やインダス川の流域は雨が少ないので小麦がつくられる。

入れる語：「雨が多い」「雨が少ない」。雨の量で作物がちがう。【10】

(5) 綿花

【10】

(6) 茶

【10】

(7) ICT（情報通信技術）産業

【10】

(8) ベンガルール（バンガロール）

【10】

(9) イ

昔イギリスの植民地だったので、英語を話せる人が多い。【10】

8 【11・12ページ】

(1) 乾燥帯

西アジアは雨が少ない。【11】

(2) ペルシア湾

【11】

(3) ドバイ

観光・金融など、石油にたよらない産業を育てている都市。【11】

(4) 観光（金融）

石油の値段が下がると収入がへり、石油はいつなくなるため。【11】

(5) ウ

【11】

(6) レアメタル（希少金属）

【11】

(7) ア

インドはICT産業、中国は経済特区、韓国は重化学工業から先端技術産業、西アジアは石油。【10・12】

(8) ウ

OPEC（石油輸出国機構）。【11・12】

(9) イ

ASEAN（東南アジア諸国連合）。【9・12】

(10) ア

組織ではなく、よび名。【7・12】